

第8回 大牟田市立学校適正規模・適正配置検討委員会（摘録）

- 【日時】 平成24年10月24日（水） 15:00～16:30
【場所】 企業局3階 講習室
【出席者】 検討委員会委員 19人（欠席1人）
教育委員会事務局 6人
【傍聴者】 1人
【取材】 3人

【次第】 司会：学校再編推進室主査

- 1 開会
- 2 議題

(1) 第7回大牟田市立学校適正規模・適正配置検討委員会の摘録について

修正等はなく了承。

(※ 情報公開センター及び市ホームページでの公表資料とする。)

(2) 配付資料の説明

発言者	発言内容
委員長	本日配付された資料を事務局から簡単に説明いただき、具体的な協議に入ります。
事務局	(資料2)の中間報告修正案について説明。
委員長	協議に入る前に質問等はありませんか。
委員	白光中の南側の椿黒町は白川校区ではないのでしょうか。線路の向こう側まで入っているが、民生児童委員は白川校区の方が担当しています。
事務局	椿黒町は1から7がそれに該当します。
委員	線路から西側は明治と白川のどちらの校区でしょうか。明治校区であれば、適正規模・適正配置で校区を変更する必要はありません。せっかく白光中の北側を線路から西側を明治校区にするのであれば、椿黒町1から7ぐらいまでもしておかないと、線路から西側が明治校区とはならないと思います。
委員長	椿黒町は1から7は明治校区ですか。
事務局	椿黒町は1から7は現在明治校区ですが、児童はいません。
委員長	他に説明をお聞きになって、確認を含めて質問はありませんか。
全委員	質問なし。

(3) 中間報告の作成について

発言者	発言内容
委員長	<p>前回の第7回検討委員会で中間報告案の論議をして修正がありましたので、事務局から修正部分の説明がありました。</p> <p>まず、基本的な考え方の9ページまでは前回特に修正はありませんでしたが、何かございませんか。</p>
全委員	意見なし。
委員長	<p>それでは、具体的な内容で、逐次再確認を含めて進めて参りたいと思います。基本になっているのは10ページで、再編案ということでまとめが書いてあります。10ページから14ページまで中学校の再編の5つと小学校の再編も含めてご意見はございませんか。</p> <p>意見が出ませんので、網掛け部分を再度確認しながら進めます。</p> <p>方向性は、28年度以降は、右京・延命・船津の中学校3校の再編校が27年4月開校、大牟田・上官小学校が28年4月開校ですから、それをあわせて28年から適正規模・適正配置の再編計画を実施しようということで確認しておりますから、網掛けになっています。</p> <p>それから、校区では、白光のところをご覧ください。白川小学校の校区の一部、下白川町1丁目を明治校区に編入する。そして中友小学校と明治小学校を再編して、明治に学校を置くということでした。そして、白川小学校と平原小学校を再編して白川小学校に学校を置きますが、中学校は歴木中学校となります。</p> <p>ひとつ問題がありますが、ここには表示されていません。それは、中学校を28年から再編していくと、同じ中学校区で小学校の再編もあるので、中学校の再編の後にその校区に小学校の再編をすると前回話し合いましたが、文章では出てきていません。中学校を先に再編しないと、同じ子どもが2回の再編を経験することがあります。右京・延命・船津中学校の再編の後に、上官・大牟田小学校が再編になると理屈は変わらないということをご理解ください。</p>
委員	2回の再編をするということをもう一度説明してください。
委員長	中学校3校の再編校の開校が27年4月、大牟田・上官小学校の再編はその後の28年です。だから、適正規模・適正配置による再編計画は28年にスタートしようということです。
委員	それは分かります。
委員	小学校と中学校の再編を同時にするという事ですか。
委員長	例えば、松原・白光中学校区の再編では、中学校の再編を先にして、その後に小学校の再編をしないと、子どもが2回の再編を経験するという事です。このことは、上官・大牟田小学校、中学校3校の再編計画に当たっても、通学区域審議会でも論議しました。
委員	できるだけ中学校を先に再編したが良いということをおっしゃっています。

委員	小学校と中学校の再編を同年にするのであれば、子どもが2回の再編を経験することにはなりません。
委員長	理解を得られればですね。
委員	中学校の再編を先にすると、子どもは再編の経験は1回で済むということですね。
委員長	それは、ここには出てきませんが、保護者、地域の方々の理解を得ながら具体的に論議するということです。
委員	例えば、上官・大牟田小学校の再編と船津・右京・延命中学校の再編を同年度にするとします。そのときに、小学生は2回の再編を経験することになるのでしょうか。
委員	上官・大牟田小学校の再編を1年早くして中学校と同年に再編しても1回の再編で済みます。 中学校を先に再編する場合も、小学生は1回の再編で済むということで、できれば中学校を先に再編したいということです。
事務局	〇〇委員が言われたとおり、中学校を先に再編すれば、小学生は2回の再編を経験することはございません。 それから、〇〇委員が言われたように、同じ年に小学校も中学校も同時に再編すれば、小学生も中学生もどちらも2回の再編を経験することはありません。
委員	基本的には中学校を1年先に再編しておけば問題はない。同年でも再編していない小学生が再編後の中学校に進学するので、2回の再編を経験するのではないということですね。
事務局	みなと小学校と天領小学校は、小学校を先に再編しています。ただ、みなと小は再編後9年経っているので、再編を経験した小学生はいません。 天領小学校の場合は22年度に再編し27年度に中学校を再編するので、小学4年生以上がもう1回再編を経験することになります。直近で2回の再編は避けたが良いのではないかとということで、上官・大牟田小と右京・船津・延命中の再編では中学校を先に再編する計画になっています。
委員長	2回の再編を経験しないということでご理解ください。 10ページで何かありませんか。
委員	小学校を1年後に再編するというのはどうするのですか。
委員長	それは、中間報告では謳わない。ただ、最終答申のときにそれを載せることを検討しましょう。
委員	基本的な考え方として、あくまでも、小学校と中学校の再編は別でしょう。
委員長	はい。そして子どもに負担がかからないよう、ダブらないように配慮し

	<p>ましようということです。</p> <p>具体的に11ページの米生・勝立中学校をもう1度見てください。駿馬北と駿馬南の再編があります。</p>
委員	<p>中学校は36年度、小学校は30年度と書いてありますので、さっきとちょっと矛盾が出るのではないのでしょうか。</p>
事務局	<p>中学校は、平成36年度の生徒数の見込みで学級規模を見込んでいます。小学校は、6年後までしか推計が出来ませんので、平成30年度の児童数の見込みで再編の組み合わせを推計しているという意味です。再編の年度ではなく、〇年度現在の児童生徒数の推計です。</p>
委員長	<p>他に質問はございませんか。</p>
委員	<p>「駿馬北学校」となっていますので、「駿馬北小学校」と表記が必要です。</p>
事務局	<p>修正します。</p>
委員長	<p>よろしいですか。</p>
全委員	<p>了承。</p>
委員長	<p>12ページにいきます。白光中学校・松原中学校・甘木中学校です。先ほどの下白川町1丁目の問題。再編後の小学校は明治小学校。35人学級、40人学級は、文科省の5カ年計画で変わってくる可能性もあります。</p> <p>13ページをご覧ください。歴木と田隈と白光の一部です。</p>
委員	<p>三池小学校は今まで2つに分かれて進学していましたが、全部歴木中ということでよいのですか。</p>
事務局	<p>三池小学校は全て歴木中学校です。</p>
委員長	<p>今度の再編計画では、1つの小学校の児童が2つの中学校に進学する例はありますか。</p>
事務局	<p>今回の見直しの中では、白川小学校を明治小学校に編入するというので、複数の中学校に分かれて進学するということはありません。</p>
委員	<p>下白川町1丁目が明治小に編入されるのは分かりますが、どういうタイミングで編入するのですか。中学校の松原と白光の再編よりも先に下白川町1丁目を明治小に編入するのですか。</p>
委員長	<p>これについてご意見はございますか。中学校の再編があるので、ここだけというわけにいかない部分もあります。</p>
委員	<p>中学校を先に再編すると、松原・白光の再編で白光になります。小学校の単位では、大正・中友・明治・手鎌小学校ということですね。白川小学校の一部が明治小に編入になるのは、いつから発生するのでしょうか。</p>

委員長	それを具体的に中間報告で出したが良いのかどうか。
委員	現在、白川小は白光中校区です。これは小学校再編のときに線引きするのですか。
委員	中学校再編の後で小学校再編時に編入するよりも、最初から明治小に編入した方が良いのではないのでしょうか。
委員長	<p>最終答申にはその辺も明示すべきでしょうね。そうしないと、保護者、地域の方はいつどうなるのか全然分からないと思います。中間報告に対する意見を聴きますので、最終答申である程度再編の時期を明示しなければならないだろうと思います。</p> <p>ただ、米生・勝立中、右京・船津・延命中の再編の場合よりも、複数校が入り混じっていますので、この校区だけが再編してよいから出来るというわけにはいきません。その辺もパブリックコメント等の意見を聴きながら、最終答申で再編時期をある程度弾力性を持ちながら明記していかなければならないだろうということ捉えていきたいと思いますが、いかがですか。今、中学校の再編と同時にと出すと、あまりにもコンクリートになると思います。</p>
委員	私は、「白光中を再編するときに手鎌小も入っているではないか。いつからか」といった質問が市民の皆さんから出ると思います。手鎌小が入らなければ、中学校の再編自体がありえないことです。その辺を検討委員会である程度、中学校再編時にはっきりと〇年度からするといった整理しておく必要があると思います。
委員長	そういうことを考えたら、中間報告を出して意見を聴取したもので最終答申を出さなければいけないだろうと思います。
委員	手鎌小は再編がありませんが、白川校区の下白川1丁目が明治小に変わるということは、中学校の再編と同時にしておいた方が小学校の再編をしやすくなると思います。
委員長	それは中間報告で出すのではなく、最終答申のときでしょう。
委員	はい、最終答申時です。
委員長	<p>中間報告はこれを出してご意見を聴き、最終答申では具体的な方策をもう少しはっきりした形で提示しなければならないだろうということを確認したいと思います。</p> <p>14ページです。ここも同じような問題があります。橘と田隈・甘木では、4行目「橘中学校の校地は狭く、施設も老朽化している」しかし、「既存施設の建替えや大規模改造等の施設整備の検討を行い、活用が困難な場合は、現橘中学校の近くへの新設についても検討する」ということを前回協議しました。小学校では、倉永、上内の問題も出てきます。</p>
委員	前回委員長が星野中学校の資料があったらということで要望されましたが、資料はありましたでしょうか。

事務局	八女市教育委員会に問い合わせたところ、昭和52年度に星野村で建設されているが、いきさつ等の資料はないということでした。現地にも行きましたところ、学校の敷地内には専用の体育館がありました。道路を挟んで建っている体育館は、星野村総合体育館という看板が掲げられていました。昭和52年当時学校に専用体育館があったのかどうかは分かりませんが、学校が星野村（現在八女市）の総合体育館を使えるように、学校の運動場と体育館を結ぶ屋根、壁つきの陸橋を造ってありました。現在も学校はクラブ活動等で総合体育館を使用しているということでした。
委員	学校の体育館もあり、村の総合体育館もあって、運動場から総合体育館まで行けるようになっているということですか。
事務局	はい。
委員	学校が体育館を2つ持っているということですか。
事務局	はい。しかし総合体育館は学校の専用ではありません。
委員長	<p>旧八女郡というのは剣道が盛んな地域です。星野中学校は体育館だけでは足りないのので、市のコミュニティセンターの性格を持っている総合体育館を活用しています。例えば雨天時は1年と2年が学校と市の体育館で授業をするとか併用していたものです。だから道路上に陸橋を造ってあります。そういうことも1つの検討手法ということで前回の検討委員会で申し上げました。</p> <p>14ページの橘・田隈・甘木の一部にご質問はございませんか。</p> <p>15ページの今後の検討課題で、(1)の中学校の再編の「松原、白光、歴木、田隈、橘、甘木中学校の6校については相互に関連しており、再編に当たっては6校全ての中学校で再編についての理解を得て、同時に行う必要がある」ということです。片一方で了解が得られても、片方が反対であれば話になりません。地域住民の方のご意見を十分聴きながら進めていく必要があるだろうということでした。</p> <p>(2)の小学校の再編で、みなとと天領が再編しましたので、現在22校です。これを17校に、上内と玉川、天の原、倉永については適正規模を満たしていないので、第二次実施計画、適正配置の進捗状況、地域コミュニティの関係等を今後も検討していきますということで、実際は17校になっていきます。</p> <p>3番目は中1ギャップの問題がありますので、小中学校は連携していく。小中一貫校は今後の課題ですが、小中連携教育は常時行っていく。</p> <p>再編に当たっては、クラブ活動、生徒会活動、修学旅行、野外活動などたくさんありますが、再編前から交流をすれば、問題は少なくなる。全国で再編が行われて、荒れた学校は全て事前交流にあまり手を打てませんでした。だから、再編したら荒れる。ところが再編前から交流を十分行っている学校は、案外スムーズにしています。そういうことで、小中連携も含めて学校再編の前の交流を活発にしましょうということで今後の検討課題を書いてあります。</p> <p>これでよろしいでしょうか。</p>
委員	(3)の下から3行目の表現ですが、「再編校間での合同のクラブ活動」という表現がもし中学校のことも含めてであれば、中学校は「部活動」と

	いうことで活動しています。
委員長	この3行は、小学校と中学校の再編を併せていますので、クラブ活動(部活動)などに名称を配慮しましょうか。 それから、野外活動等の交流は、保護者や地域の方が分かるように、もうちょっと具体的に出したが良いのではないのでしょうか。小学校の5地区対抗も野外活動ですか、それともクラブ活動ですか。
事務局	学校行事の校外行事です。
委員長	例えば、学校行事のことも書いてもらう。 それから、中学校の職場体験学習も他校と一緒にすると、それで成功した地域もありますので、とても意味があるのではないかと思います。 必要なければそれでよいと思います。これは絶対入れたが良いというのはありませんか。今、修学旅行を合同で行っている学校はありますか。
事務局	天道・笹原小学校は再編に向けて合同で社会科見学や修学旅行を行っています。
委員長	良いことですね。中学校は修学旅行を合同ですれば問題が起きるのでしょうか。
委員	玉川小学校と上内小学校は、野外活動や修学旅行を一緒に行ったりしました。
委員長	そういうことを出すと、他の学校の啓発になると思います。啓発も含めて具体的に文章に書く必要もあるのではないかと思います。 他にないでしょうか。
全委員	意見なし。
委員長	それでは全体的に何かございませんか。この修正案で中間報告をしますが、最後に各委員から感想を含めて何かありましたらお出し下さい。今後の参考にもなりますので、最終答申に向けたことでも結構です。
委員	平成28年度から実施するというのは、36年までの間にどのくらいのペースで再編を進めるのが問題になると思います。1回では再編できないでしょうから、何年ごとに再編していくのが1番よいのか。問題になるところを説明して理解いただいたら一遍に再編するとか、教育委員会で考えられるのでしょうか。
委員長	28年から36年まで約8年間のスタンスで、どのように再編を進捗させていくか、それには地域住民の方の検討も十分反映しなければなりません。そういうことをどこかの時点で出さなければ、地域も不安でしょうし、特に今から小学校、中学校に進学する保護者の方は不安だと思います。具体的な方策も含めて、具体的に進度表を事務局と検討委員会と一緒に作成していかなければいけないでしょうね。
委員	最終答申ではある程度決めていかなければ、何のために検討委員会を協

	<p>議したのか、意義が出てこないのではないかと思います。最終答申までにはどこをいつ再編するのか決めていただいた方が良いのではないかと思います。</p>
委員長	<p>第一次実施計画、第二次実施計画でも今おっしゃったように具体的な再編時期を示しています。意見を聴いてきちんと〇年に再編すると示して、みなと、天領、天の原の再編が進んでいます。来年3月の最終答申のときに、保護者や住民の方のご意見、パブリックコメントの意見を全部総合的に考えて具体的な方策、具体的な手法、具体的な日程を煮詰めて、また地域で説明していただくと、はっきり見えると思います。こことここを再編しますというだけではいけないと思いますので、最終答申に向けて協議していきたいと思います。</p> <p>最終答申のやり方など含めてご意見はありませんか。</p>
委員	<p>中間報告は現実的なところでまとまっていて、次の世代に橋渡しするには1番最適な案だと思います。そこで橘中学校の新校舎の建設の問題が残っていますが、ちょうど次のステップに進む良いきっかけになっているのではないかと思います。これがいい意味で次の再編のきっかけになって北部の中学校をまとめて成長していくように、みんなで努力して育てていかなければならないと思います。そうすると、南も西も同時に再編しようということになるのではないのでしょうか。問題として残して片付けていくのではなく、さらに次のステップを見通して検討していくものとして、橘中学校の問題は検討する必要があるのではないかと思います。</p>
委員	<p>再編の時期がいつになるのかということをお私たちは1番考えていかなければならないと思います。中間報告で意見を聴取して再度検討するということですが、今後の検討課題の(1)に書いてありますが、松原、白光、歴木、田隈、橘、甘木の6校は同時に再編しなければいけないということは、中学校は一斉に再編しなければいけないということを謳っていると思います。みなと小学校、天領小学校や上官・大牟田小学校は段階を踏んでいるので、再編の間が開いています。そういう悠長なことをしていると、実際に再編したときはまた変わっていたということになると、また再編になるのではないかと。私はどちらかというと、中学校は一斉に再編しないと、無理なのではないか、その翌年には小学校の再編をするというような最終答申を出すような方向性を持っていく方が良いのではないかと思います。</p>
委員	<p>再編の順番が全然分かりませんが、〇〇委員が言われたようにスピード感は大切だと思いました。</p> <p>ただ、今までの話では小中一貫校について全然具体的に見えていないと思います。小中学校の再編とは関わりなく問題がずれるかもしれませんが、小中一貫校をするのであれば、帝京大学の移転によって、今ある勝立の帝京大学の跡地がどうなるのか、立派な校舎やグラウンドがそのままで放置されるのかどうか気になります。</p>
委員	<p>すごく大変な役に関わっていると感じます。再編しても子どもたちが生き生きと過ごせるように、「再編されてよかった」という感じにならないと意味がないと思います。保護者が見たら橘中学校などはいつ実現するんだろうという具体的なところがなくて再編するならば、建物を改修するか過ごしやすい教育環境を作っていかなければならないと思います。</p>

委員	6校を一緒に再編すると、橋はかなりの経費がかかると思いますので、予算面等から同時に出来るのか心配です。
委員長	結局、教育委員会だけではなく全庁的な取り組みをしてもらわなければこの再編はあり得ない。
委員	消防、給食センターが優先かなと思いますが、お金をかけてでもしなければならぬと思います。
委員	学校の再編はまちづくりです。私は、まちを今後どのようにするかということと、子ども達のためどうあるかということが並行していると思います。まちづくりを考えて中学校が11校から5校になる案です。学校まで近い、遠いといったアクセスの問題はありますが、本来子どもが学ぶところはどうかという検討をしないと、これから30年後は予想されていますので、まちづくりをするために再編を進めなければなりません。1校ずつ再編していて10年経過してよいのかという話です。まちづくり＝学校再編＝子ども達のためと思っています。
委員	非常に良い中間報告が出来たと思います。ただ、今後の答申に向けてどの程度書き込むことが出来るかが大事だと思います。1つは、具体的に進めるには保護者の方、地域の合意が何より必要になってきます。小学校の再編では、校区を切り取るのであれば公民館の問題も絡んでくるかもしれません。そのような地域組織との関わりも出てくると思います。それから予算の問題があります。 タイムスケジュールは検討委員会で一斉に組むことは出来るでしょうが、実際問題として橋中を完全に新規に造るとなったならば、用地購入など1年か2年で済むような話ではないと思います。 それから、ただ子ども達を移せばよいのであれば同時でも良いが、校舎の改修が必要という話になれば、改修の費用と期間、どの程度改修するかということもありますので、答申の中に勘案して書けるのか。むしろ姿を見せておいて、実施計画という形で詰めてもらわないと、検討委員会で何年間かかるという話はとても出来る話ではないと思いますので、答申の出し方が気になります。
委員	学校再編は非常に予算もエネルギーも必要だと思いますが、大牟田市の小中学校がよりよく改善されるチャンスではないかと思います。学校現場は何十年も前から同じようなシステムというところもあります。今回平成27年度に右京・船津・延命中が再編されるときに、3校だけでなく他の中学校も変わる良い機会ではないかと捉えていきたいと思っています。 資料の目次の5(2)と(3)が、12、13ページの表題と少しずれているようです。それから12ページの中学校再編の最長通学距離が白光中まで白光中校区で経路距離が1.1kmというのは近すぎるのではないかと思います。もともと明治小学校の校区でもう少し遠いところがあるのではないのでしょうか。
委員長	再度測定し、訂正をお願いします。
事務局	確認いたします。
委員	大牟田が全市的な視野で活気づくのではないかという感じがします。プ

	<p>ラス思考で捉えていただくような保護者へのアプローチが必要ではないかというのが感想です。</p> <p>それから、子ども達の安全面に重点を置いた修正が行われたことで大変良かったと思っています。子ども達が大きな集団の中で、生きる力がもっともつついていくのではないかと思います。</p> <p>もうひとつは、保護者の立場で考えてみたときに、まず子どもたちの安全ということを考えるのが1番だと思います。その次に安心を考えるとと思います。校区が広範囲になったときに、うちの子はどうやって通学するのだろうという不安があると思いますので、そういうところを腹案として検討委員会が持っておく必要があるのではないかと思います。</p>
委員	<p>大変皆さんの知恵が詰まった方針になったと思っています。先程から何年から再編を実施するかというときにあまり前向きな話が出てこないのですが、もしこの中間報告を皆さんが良いのもだと思われたら、たぶん明日からやりましょうということになると思います。最終答申はそういう気持ちになるような形に作り上げられると良いと思います。</p> <p>それからお金の話が出ていますが、再編をしなかったら、おそらく施設の補修をするのに10年間に1校何千万円とか1億円とかかかって、20校あれば20億円かかって、だったら橘中学校が新設できるのではないかという話になっていくと思います。再編するのであれば、かなり校舎の老朽化が進んでいますので、手を入れなくて新しいところに手を入れるという考え方でやれば、道は開けていくのではないかと思いますので、ぜひ良い答申を前向きに進められたら良いと思います。</p>
委員	<p>最初は児童数や生徒数がだんだん減ってきて、どんな風に再編したらよいかというのがありましたが、皆さんのいろんな意見、知恵があって中学校を11校から5校まで絞り込んだ案が出来たと思います。ただ、地域や保護者の方の理解がこれから必要だと思いますが、私はこれから良くなっていくのだろうという期待感でいっぱいです。</p>
委員	<p>スピーディーにということに関しては同意見ですが、勝立中学校閉校し後の校舎はどうなるのかとか、保護者の立場として玉川小学校の子ども達は勝立中学校、焼石山を通して小学校に行くけれど、中学校が閉鎖されたら子どもたちはどこを通して小学校に行くのかという不安があります。</p> <p>玉川小学校は校区が広いので、低学年の子どもたちは通学に時間をかけて通っている状況です。子どもが少ないために集団登校も出来ず、1年生の子どもが1人で登校している状況が多く見られる所もありますので、子どもたちの安全のために保護者の安全面に対する意見に注意して再編していかなければならないのではないかと再認識しました。</p>
委員	<p>中間報告の説明会など現場の意見が出てくるので、今からが正念場だと思います。1回中学校を見ましたが、現場を見ると随分考えも変わってきて非常に勉強になったと思います。検討委員会が再度現場を見ることが必要なときも来るのではないかとと思いますが、今の段階ですばらしい中間報告ではないかと思っています。</p>
委員	<p>中学校の5校は出来るだけ早くしなければいけないと思いますが、私は小学生の子どもを持っていて1番下の子が3歳なので、どこを通ったら安全に学校に行けるか。手鎌小学校なので、今度白光中になるかもしれませ</p>

	<p>ん。そうしたら、今は甘木バイパスがあるから歩道があり子どもたちも安全に学校に行けますが、白光中になったら、セブンイレブンの細い道になり、そこは車の交通量が最近増えてきています。どこをどう通ると子ども達が安全に学校に行けるかというところまで、考えなければならないのではないかと思います。</p>
委員	<p>P T Aという立場でこの委員会に参加しています。もちろん早く着手した方が良くと思いますが、子どもの安全というのは1番気になります。再編した場合の通学経路をこのように考えているというのを、実際に持たれていた方が良くのではないかと感じます。</p>
委員	<p>学校を再編したならば、当然整備をしなければならない。通学路も確保しなければならない。だからある程度の年度の計画を立てて、予算を確保しながらまちづくりで取り組む必要があります。〇年に再編するから通学路を子どもたちのために優先的に整備しなければならないし、体育館を造ったり、施設整備が必要ない学校でもせめて床を張り替えなどの安心安全が必要だと思います。みなさんほとんど子どもたちの安心安全です。</p> <p>再編校の整備のための予算確保が必要だから、早めの計画を立てて整備する必要があると思います。</p>
委員	<p>ベスト内容を選択して中間報告を決めたので、中間報告の説明会で納得されると、橘中の新築などはあまりエネルギーは必要ないと思います。保護者や地域の説明会にもすごく体力を使うと思いますが、それを終えたらあまり大変ではないと思います。</p>
委員	<p>再編になる学校が新しいスタートを切るのには1番良いことだと思います。先程おっしゃったように、変わるきっかけのチャンスと捉えれば素晴らしいので、全体感に立った説明会が大切だと思います。これまでは検討委員会の中で学級数、子どもの活動とか環境ということがありましたが、それとともに安全面は1番心配ですから、通学路の問題とか学校の設備の問題とか細やかなところも今後必要になってくると思いますし、最終答申までには再編時期も必要だと思います。スピードをもってやるべきだと思いますし、先程中学校の再編を優先するということが出ていましたが、小学校でも再編が必要なところが同時に進める必要があると思います。そういう意味では予算は建物もですが、教育委員会の皆さんも大変だと思います。一気に再編を進めるとすれば、全庁的にやっていかなければならないと思っていますが、大牟田のまちが変わるきっかけになるのではないかと思います。</p>

(4) 議事のまとめ

発言者	発言内容
委員長	<p>いろいろお話をいただきましたが、1つも容易な再編はないと思っています。それをクリアするためにどのような考え方が必要かということ、やはり保護者や住民の方と共に行政も考えて課題を共有化していき、合意を作らなければ、どの再編も簡単にはいかないと思います。ところが共に考えて課題を共有して合意をつくっていけば、1つずつ解決していくのではないかと思います。</p> <p>そういうことによって学校が変わる、家庭が変わる、社会が変わること</p>

	<p>に繋がっていくかもしれません。そういう大きな捉え方を持ちながら、スピード感も必要ですし、具体的なことを考えながら、コンセンサスを得ることを十分配慮しながら説明会をしていただきたいと思います。そしてその跳ね返りが来ますので、また検討委員会で十分論議してより良い案を作っていく。ただ、地元の理解なくして再編はないと私は思います。しかし、全て地元の言う通りかという、そうでもないと思います。検討委員会の責任ある主体性を持って取り組まなければなりません。</p> <p>そういう労作が出てきますので、最終答申にどのようなことを具体的に考えればよいかということをお各委員それぞれ考えていただくと、次回の会議がスムーズに行くと思います。</p> <p>必ずいろんな意見が出てきます。それに自分ならこのような最終答申をつくっていく。スピード感もあります。どういう信念でいくかということもあります。安全性の問題などたくさんありますので、総括的に考えて具体的方策を出せば、保護者、地域、パブリックコメントの方々も理解がより得られるのではないかと、今話を聞いていました。ありがとうございました。</p> <p>これで中間報告をまとめますが、あとは副委員長と私で教育長に中間報告をさせていただいてよいでしょうか。出来るだけ早い時期に中間報告をしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。</p>
全委員	了承。

(5) その他

発言者	発言内容
委員長	事務局から何かございませんか。
事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>今後は中間報告の説明会を開催しますので、資料をご覧ください。船津・右京・延命中の関係校については今月下旬から説明を行う予定で、その他の会場については11月12日から11月21日まで説明会を行います。裏面に11月1日号の広報おおむたの案を掲載していますが、中間報告のパブリックコメント実施と説明会の開催をお知らせしています。</p> <p>各委員におかれましては、所属団体で中間報告について話をされることがありましたら、説明をお願いします。また、中間報告の資料が必要な場合は、事務局で必要数を準備します。</p> <p>次回の検討委員会は、説明会やパブリックコメントの意見を取りまとめて報告し、検討委員会の考えをまとめていただく予定で、25年1月頃を予定させていただきたいと考えています。日程調整後、ご連絡させていただきたいと考えています。なお、本日の会議後に委員長、副委員長のお時間をいただければ、指摘いただいた部分を修正し、本日中間報告をさせていただければと考えています。</p>
全委員	了承。
委員長	ありがとうございました。

3 閉会